

## 2022年を迎えて



早稲田大学  
基幹理工学部情報通信学科 教授  
一般社団法人日本 ITU 協会  
出版・編集委員会 委員長

かめやま わたる  
亀山 渉

新年、明けましておめでとうございます。

出版・編集委員会を代表し、会員の皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。編集委員会一同、本年も、『ITUジャーナル』と『New Breeze』の充実に邁進してまいります。

新型コロナウイルスによる世界的パンデミックは2年近く続き、多くの方々の生活様式が大きく変化しています。とりわけ、在宅時間が以前よりも長くなったというのは、皆様の共通認識だと思われまふ。私自身、基本的には出勤していますが、在宅勤務をする場合もあり、また、仕事以外に自宅でインターネットを利用する機会も以前より増えました。自宅のインターネット環境は典型的な形態で、光回線にWiFiルータをつなぎ、無線LANによって様々な機器を接続しています。しかしながら、WiFiルータはかなり前に購入したもののため、インターネット動画視聴の際に少々ストレスを感じるようになりました。そこで、遅ればせながら、2020年末にWiFi6をサポートする少々高額なWiFiルータに取り替えました。ストレスは以前から感じていたのですが、接続しているPC、プリンタ、タブレット、スマートフォンが家族の分も含めると10台弱あり、また、テレビ、ブルーレイレコーダ、空気清浄機等の家電も接続しているため、これら全部を設定変更すること、加えて、サービスプロバイダに合わせてWiFiルータを新たに設定することも面倒だと感じ、取替を躊躇していました。

しかし、案ずるより産むが易しで、新しいWiFiルータの設定は非常に簡単でした。変更したのは高速無線通信の設定等だけで、その他の設定はほぼデフォルトのまま、あっという間にサービスプロバイダに接続できました。そのため、接続機器の設定変更にはやや時間を費やしたものの、1時間程で全ての作業があっけなく終了しました。さらに、契約しているサービスプロバイダはIPoE接続をサポートしていましたので、今までのPPPoE接続からIPoE接続に自動的

に変更され、通信速度が劇的に改善されました。使用しているONUは10年程使っている古いものなので、100BaseTのインタフェースしか提供されていません。そのため、以前は有償でのONU交換が必要かと思っていたのですが、新しいWiFiルータによるIPoEの接続により、職場とほぼ同じ通信速度を最大で得られるようになりました。今ではストレスなく、家族全員でインターネット動画を楽しんでいます。ONUの交換はしばらく待っても良さそうです。

在宅時間が増えたため、家庭でのインターネット動画視聴時間が増加するのは世界的な傾向のようです。例えば、2021年11月10日のInvestis Digitalによるレポートによれば、イギリスのITVが提供しているITVHubによるオンライン視聴は2021年に39%増加、滞留時間は9%増加、サイマルキャスト視聴は51%増加したとのこと。また、2021年7月21日の報道によれば、Netflixの同年6月までの3か月決算は過去最高の売上となったそうです。そのため、各媒体における広告費も大きく変化しています。2021年2月25日の電通の発表では、2020年の日本のインターネット広告費は前年比で105.9%となり、日本のマスコミ四媒体広告費（新聞、雑誌、ラジオ、テレビ）の総額に匹敵する額となっています。2021年の日本の広告費の発表は2022年の2月頃になると思われますが、注目すべき額になることが予想されます。ちなみに、同社の報告では、2019年に、日本ではインターネット広告費がテレビ広告費を追い抜いたとされています。また、クロス・マーケティング社の「テレビとインターネット動画配信に関する調査（2021年）」によれば、日本人の1日の視聴時間に関して、平日及び休日共に9割がテレビを視聴しているのに対し、インターネット動画は7割となっているとのこと。ただし、20代においてはほぼ同程度の割合となっているとのこと。

これらの国内外における傾向に鑑み、総務省は「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」を設置し、その初会合が2021年11月8日に開かれました。テレビ離れが進行する中で、放送事業者の対応及び制度の見直し等が議論され、本年夏には提言をまとめる予定と報道されました。テレビ離れによるインターネット動画視聴はコロナ禍によって加速していると思われまふが、本検討会がどのような提言をまとめるのか、今年の最も注目すべきものの一つとなるのは間違いないと思われまふ。

結びと致しまして、会員の皆様のご多幸とご健勝、そして本年が皆様にとって更なる飛躍の年となりますことを祈念致します。本年もITUジャーナルをどうぞ宜しくお願い致します。